

いとび

第318号

令和7年1月1日発行



弓始神事 鳴弦の儀

本年の御遷座百十年は「次の百年」への里程の十年を祝い、記念の祭典を執り行い、記念事業は新規の建設等は行わず、既存の施設の改修を行いたいと思っております。拝殿前の石畳補修。社務所(平成十三年竣工)の壁紙カーペットの張り替え。参集殿(大正五年建設)の補修。などを行い、更なる利便を図りたいと考えております。

また御遷座百年事業の手紙のタイムカプセル便「時空箱」に参加された皆様に、十年経ちますので箱を開きお手紙をお返しします。お楽しみにしてください。

彌彦大神様の御護りのもと、この新しい年が皆様にとりまして明るい年でありますことを心よりお祈り申し上げます。

新年明けましておめでとうございます。

令和七年 皇紀二千六百八十五年の年頭を言祝ぎ、皆様方に新春の賀詞を申し上げます。

謹しみて皇室の弥栄、国の安泰と併せて氏子崇敬者の皆様が平安でありますよう心よりお祈り申し上げます。

本年は大正五年の御遷座より百十年を迎えます。明治四十五年に大火により御社殿が焼失し、大正五年新社殿に大神様を御遷ししてから百十年です。

先の平成二十七年の御遷座百十年には、永田前宮司のもと、盛大に御遷座百年大祭・初穂講創立百年大祭が斎行されました。「百年の想いを次の百年に結ぶ」をテーマに「百万人奉賛運動」を展開し、数多くの方々の浄財をご奉納していただき、「御本殿周辺の整備」、「神苑の整備」などの多くの記念事業が行われました。今の相撲場・弓道場・鹿園、初穂講記念の「みずほ館」新設などがそうです。更に奉祝行事として演奏会などの三十五もの行事が毎月のように行われ、職員一同忙しく走り回っていたことを懐かしく思い出します。



新春を言祝ぎ

彌彦神社宮司 渡部 吉信



彬子女王殿下御参拝

彬子女王殿下には、弥彦競輪場にて開催の第三十三回寛仁親王牌・世界選手権記念トーナメント(GI)台臨に際し、十月二十一日当神社を御参拝になられた。

御参拝に先立ち午前七時四十五分より奉告祭を奉仕した。午前九時前、一の鳥居前にて宮司以下がお出迎え申し上げ

げ、殿下には御徒歩にて参道を進まれ社務所に御着、拜殿に御進みになられた。御手水の後修祓を御受けになり、祝詞舎にて権宮司がお進め申し上げた御玉串を御執りになり、大前に奉られ御拝礼された。社務所での御小憩の後、午前十時前御車にて社務所を御発になられた。

祭事暦

(一月～三月)

一月中

- 元旦 歳旦祭(午前〇時)
- 夜宴神事(午後六時)
- 二日 月次祭(午前十時)
- 夜宴神事(午後六時)
- 三日 夜宴神事(午後六時)
- 弓始神事(午前九時)
- 七日 交通安全月次祭(午前九時)
- 十日 日神祭(午前九時)
- 十五日 供粥祭(夕刻)
- 十六日 粥占炭置神事(午前五時)

二月中

- 一日 神幸神事(午前十時)
- 二日 例祭(天御膳献進)(午前十時)
- 神幸神事(午前十一時)
- 三日 神幸神事(午前十時)
- 四日 神幸神事(午前十時)
- 十日 交通安全月次祭(午前九時)
- 十一日 建国記念祭(午前十時)
- 二十日 天長祭(午前十時)

三月中

- 二日 月次祭(午前十時)
- 十日 交通安全月次祭(午前九時)
- 十一日 末社・火宮神社例祭(午前十一時)
- 十五日 大々神樂始奉告祭(午前十一時)
- 二十一日 春季皇靈祭遥拜式(午前十時)
- 二十七日 御浜行
- 二十八日 祈年祭・初穂講春季大祭(午前十一時)

令和七年初詣について

▽新年の御祈祷(御祓い)

御祈祷(御祓い)は毎日午前八時三十分から午後四時まで御奉仕致します。

新型コロナウイルス・インフルエンザ等の感染症が気がかりな方は、マスクをご着用ください。なお、発熱など体調のすぐれない時は、ご参拝をお控えください。

○円滑なご案内のため、御祈祷の受付時に色分けしたカードをお渡しすることがあります。皆さまのご協力をお願い申し上げます。

○御祈祷は当神社に古くから伝わる作法である「総拝(そうはい)」の形式とさせていただきます。「総拝」とは、お願い事を大神様へお伝えする祝詞(のりと)の前後に、神職とともに柏手を打ってお参りする作法です。

○一月中の土日祝日は午前十時頃から午後二時頃までが混み合います。新年の御祈祷は一月中随時御奉仕致しますので、二が日や松の内などにこだわることなく、混雑する時期・時間帯を避けてお越しください。

○ご都合により当神社にお越しになられない方は、当神社ホームページ上からでも御祈祷をお申込みいただけます。

お申込みいただいた御祈祷は、お越しいただいた時と同じく拜殿にて執り行い、御祈念申し上げます。お申込みはホームページの他、お電話でも受け付け致しております。

詳細は当神社ホームページ yahiko-jinja.or.jp をご覧ください。

▽御札・御守・縁起物

毎日午前八時三十分から午後五時まで授与致します。授与所では、見本をお示ししておりますので、ご希望の御札・御守類をお申し出ください。

なお、御札・御守等の郵送をご希望の場合はお電話にてお問い合わせ下さい(当神社ホームページからはお申し込みできません)。

※お知らせ※

破魔矢・熊手等の縁起物の初穂料は、平成六年に定めてより約三十年の間、ほぼ改められておりませんでした。が、昨今

の社会情勢に鑑み令和六年十二月一日より改定させていただきます。また、縁起物類は数に限りがございますので、お早目にお受けください。

▽御朱印

一月中は御朱印帳への記帳を差し控え、「書き置き」にてご対応させていただきます。なお、御神廟の御朱印は詰所が冬期間閉鎖中につきお渡ししておりません。あらかじめご了承の程お願い申し上げます。

皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

謹賀新年

宮司	渡部 吉信	全	全	弥彦神社敬婦人会	会長	渡部由里子
権宮司	米山 信	全	全	副会長	米山千也子	
権禰宜	相馬 正幸	全	全	幹事長	小越ゆみ子	
全	増子 喜之	全	全	新潟県菊花連盟	広沢 ヒロ	
全	高橋 孝至	全	全	副会長	渡部 吉信	
全	齊藤 直宣	全	全	副会長	米山 信	
全	倉澤 大徳	全	全	副会長	古泉 隆夫	
全	高橋 正昭	全	全	弥彦神社日本鶴の会	会長	佐藤昭三郎
全	高橋 良直	全	全	副会長	渡部 吉信	
全	和田 憲治	全	全	副会長	山際 憲治	
全	佐藤 智也	全	全	弥彦神社氏子青年会	会長	清水 吉郎
全	村山 拓郎	全	全	副会長	黒津 一彦	
全	山田 晴己	全	全	弥彦神社初穂講	議長	渡部 吉信
全	近藤智佳子	全	全	副議長	米山 信	
技師	太田 敏文	全	全	ボイスカウト西蒲原第七団	育成会長	渡部 吉信
技師	荒木 貢	全	全	副委員長	米山 信	
工手	佐々木義久	全	全	弥彦神社大々神楽講	団委員長	米山 信
工手	外職員一同	全	全	弥彦神社交通安全講		
責任役員	大谷 統司	全	全	弥彦神社崇敬会		
監事	村山隆太郎	全	全			
	半間 良輝	全	全			
	高山 忠志	全	全			
	佐々木英夫	全	全			
	米山 信	全	全			
	渡部 吉信	全	全			
	加藤 雄大	全	全			
	櫻橋 貴博	全	全			
	柳田 豊	全	全			
	河村 八郎	全	全			
	狩谷 一則	全	全			
	柳田 豊	全	全			
	本間 芳之	全	全			
	加藤 治	全	全			
	星野孝一郎	全	全			
	藤井 大介	全	全			
	大原 興一	全	全			
	敦井 榮一	全	全			

謹賀新年

彌彦神社氏子青年会
会員募集
 事務局 彌彦神社内
 (〇二五六・九四・二〇〇一)

わっぱ飯膳
 松花堂弁当
吉田屋
 弥彦外苑坂通り
 電話(〇五五)九四一・二〇二〇

政府登録旅館(三三七二号)
 日観連会員
古宿だいろく
 新潟県西蒲原郡弥彦温泉
 電話(〇二五六)94二〇二六番

弥彦温泉
清水屋
 彌彦神社前
 電話(〇五五)94二〇一五番

心とむち
 いにしえ郷の美味な宿
桜家
 彌彦駅前
 電話(94)二〇〇九番

一級建築士事務所
河村組
 弥彦大杉通り
 電話(94)二〇六九番

総合建設業
河村組
 弥彦大杉通り
 電話(94)二〇六九番

厄祓のご案内

厄年とは、人生の中で転換期の一つとして心身ともに摂生し、万事に亘り慎むべき重要な年と、古来より言い伝えられております。厄年に当る年には神社に詣でて厄難消除開運招福を祈念する慣わしです。

本年の厄年は次の表の通りです。厄祓の御祈祷は随時執り行っておりますので、時期にこだわらずご参拝ください。

令和七年厄年（数え年）

男性			女性		
前厄	本厄	後厄	前厄	本厄	後厄
24歳	25歳	26歳	18歳	19歳	20歳
平成14年生	平成13年生	平成12年生	平成20年生	平成19年生	平成18年生
前厄	本厄	後厄	前厄	本厄	後厄
41歳	42歳	43歳	32歳	33歳	34歳
昭和60年生	昭和59年生	昭和58年生	平成6年生	平成5年生	平成4年生
前厄	本厄	後厄	前厄	本厄	後厄
36歳	37歳	38歳	平成2年生	昭和64年生	昭和63年生
前厄	本厄	後厄	前厄	本厄	後厄
60歳	61歳	62歳	昭和41年生	昭和40年生	昭和39年生
前厄	本厄	後厄	前厄	本厄	後厄

古神札等の御焚き上げについて

古神札類の御焚き上げは、神社・神棚に関わるもので可燃性の古神符守札類（御神札・御守・破魔矢・熊手・絵馬など）のみをお預かりしております。御神酒瓶や陶器類等の不燃性の物、だるま・人形・ぬいぐるみ・財布・古手紙・写真など、御神札・御守と関係のない物はお断りいたします。

御焚き上げをご希望の際は、正月中は回廊内及び二の鳥居下の納所にお納めください。小正月（一月十五日）まで、浄火にてお焚き上げします（お焚き上げは天候により中止する場合があります）。

なお、二月以降は境内二箇所の授与所、または御祈祷受付にお預けください。

皆さまのご協力をお願い申し上げます。

年頭の特特殊神事

夜宴神事

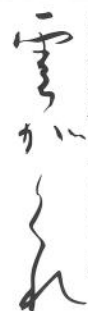
一月一日〜三日



夜宴神事は新年を寿ぐ当社古伝の特特殊神事。元日より三日間、毎夕六時から拝殿にて執り行われる。この神事は「鳥取り」とも称し、大前に木彫りの鶴亀や小鳥を配した鳥台を御供えして小神楽を奏する。第二夜には一月七日の弓始神事の配役が、第三夜には「萬歳楽」の式が行われる。鳥台上に配した小鳥は神事後、当夜参列した参拝者に抽籤で授与される。

謹賀新年

越乃銘菓「くもがくれ」



越後杵つき



県産こがねもち使用

御菓子処 米納津屋

燕市吉田上町 電話(93)二一四四
 神社駐車場前 電話(94)四八一一
 弥彦神社通 電話(94)一八二二三

日本海・佐渡と
越後平野が一望できる——
弥彦山頂へ



弥彦山ロープウェイ

新潟県西蒲原郡弥彦村大字弥彦2898番地
 〒959-0323 TEL (0256) 94-4141
 FAX (0256) 94-4725

お役に立ちます
— 夢づくり —

けんしん
新潟県信用組合
TEL 94-2222代

弓始神事

一月七日

一月七日午前九時より伝統の弓始神事が斎行される。大前に七種粥をはじめ山鳥、活鯉、勝栗、串柿などの特別な神饌をお供えして、国家安穩、五穀豊穡、災難消除を祈念する。天地人四方を弦音にて祓い浄める「鳴弦の儀」の後、拜殿脇に設けた二十五間（約四十五メートル）の射場で神職十名により「百射の儀」が古式に則して厳かに執り行われる。午後からは、前年十月に行われた第百四回新潟県奉納弓道大会において八射五中以上の成績を収めた参加者により、神事と同じ射場にて一般奉射が行われる。



粥占炭置神事

一月十六日

年頭に当たり、一年十二ヶ月の天候と農作物・漁撈の豊凶を占う神事。一月十五日夜から十六日朝にかけて厳重に斎行される。この神事の起源は詳らかでないが、慶長十六年（一六二二）には行われていた記録があり、寛政七年（一七九五）以降は毎年の記録が残されている。二日の間飯殿に忌み籠り、斎戒を重ねた神職が炊き上げた御粥は十五日夕刻、大前にお供えされる。翌十六日未明、飯殿において官司以下神職により粥占と炭置の神占いが行われる。この神事は一般には公開されないが、その結果は当神社初穂講員約一万人をはじめ農業関係団体等に配布される。



例祭厳修

二月二日

社伝によれば、御祭神の天香山命は第六代孝安天皇元年二月二日に、越の国開拓をはじめとする現世の偉業を成し遂げられ、神退られたと伝えられている。古くは御神輿渡御が行われていた事に因み、祝詞舎に御神輿二基を奉安し、大神様と妃神様を御遷し申し上げ、特殊神饌「大御膳」を奉獻して、当神社最重儀の例祭を厳修する。また、二月一日より四日までの四日間にわたり「神幸神事」が執り行われる。神幸の楽（みゆきのがく）、を奏で、神歌（かみうた）を披露し、童女による小神楽を奉奏して御神慮をお慰め申し上げる。

第百四回新潟県奉納弓道大会

十月六日

十月六日、第百四回新潟県奉納弓道大会が開催され二十七団体、百八十八名が参加し、日頃の鍛錬の腕を競った。大会の結果は次の通り（敬称略）。

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 団体 | 個人 |
| 優勝 新潟大学弓道部B | 優勝 吉田 獅門（新潟弓道連盟） |
| 第二位 新潟大学弓道部C | 第二位 三浦 遼太（新潟大学弓道部） |
| 第三位 長岡市弓道連盟B | 第三位 羽賀 柊人（新潟大学弓道部） |
| 第四位 一箭会B | 第四位 小野 聡夫（新潟大学弓道部） |
| 第五位 新津弓道連盟A | 第五位 竹石 至（愛弓会） |
| | 第六位 藤岡 睦（上越弓道連盟） |
| 第七位 中村 正彦
（新発田市弓道連盟） | |
| 第八位 渡辺 義彦
（柏崎弓道連盟） | |
| 第九位 相蘇 恒詞
（一箭会） | |
| 第十位 外井 優翔
（新潟大学弓道部） | |



謹賀新年



永井自動車

電話 (94) 4101

弥彦温泉

ホテルヴァイス
弥彦神社前通り
電話 (94) 56112番

初宮詣と婚礼記念

弥彦神社認可
やなぎだ写真館
電話 (94) 4155番

電話 (94) 4155番



東北電力株指定工事店
彌彦神社御用

高倉電気商会

弥彦駅前
電話 (94) 2260番

二階 和カフエ

一階 和雑貨・和小物・おみやげ

弥彦神社前

電話 (94) 2262番



弥生商店
新潟県弥彦村彌彦神社前
TEL (0256) 94-5841
FAX (0256) 94-5065
http://yayoi.sake-ten.jp

建国記念祭

二月十一日

二月十一日の「建国記念の日」、午前十時より建国記念祭が斎行される。

建国の昔を偲ぶと共に国家の隆昌を祈願し、併せて神武天皇の日本建国に際し、苦境に陥った天皇に靈劍・薙靈劍（ふつのみたまのみつるぎ）を獻じて危機を救い奉る大功をたてられた当社御祭神天香山命の御神徳を景仰する。

祭典後には、弥彦村建国記念祝賀会主催の記念式典が行われる。



第六十四回 奉納菊花展覧会

第六十四回奉納新潟県菊花展覧会が昨年十一月一日から二十四日まで開催された。出品数は約二千鉢と例年より若干少な目ではあったものの花持ちちは良く、期間中は約十五万人の参拝観菊者が訪れた。本年の大風景花壇は「会津磐梯山」と題し、新潟県民にもなじみ深い会津の名峰を、約三万本の菊花の挿し芽と大小約五百鉢の菊花にて色鮮やかに造園し、好評を博した。

十一月二十日には献花祭に併せて授賞式が挙行された。
彬子女王殿下には、格別の思召を以て昨年に引き続き十五回目の寛仁親王賞を御下賜になられた。
主な受賞者は次の通り（敬称略）



特別賞

- ▽寛仁親王賞
中菊の部 弥彦作
大竹 与市（新潟市南区）
- ▽農林水産大臣賞
大菊の部 数咲
古寺 洋（新潟市西区）

- ▽厚生労働大臣賞
小菊の部 木付
長谷川三作
（新潟市秋葉区）
- ▽神社本庁統理賞
大菊・七管立厚物
大竹 与市（新潟市南区）
中菊・競技花
野崎 信二（新潟市北区）
小菊・大懸崖
古寺 洋（新潟市西区）

- ▽神宮大宮司賞
大菊・七管立厚物
大竹 与市（新潟市南区）
中菊・伊勢菊
田中 靖（新潟市北区）
小菊・大懸崖
大竹 与市（新潟市南区）
- ▽彌彦神社宮司賞
大菊・競技花
田村 功（新潟市北区）
中菊・小作三幹立
大竹 与市（新潟市南区）
小菊・特別競技花
長谷川三作
（新潟市秋葉区）

- ▽新潟県知事賞
大菊・三幹立厚物
田中 靖（新潟市北区）
中菊・江戸菊
皆川 俊治（新潟市北区）
小菊・筏吹
笠巻 弘（新潟市西蒲区）
- ▽新潟県教育長賞
大菊・厚物花壇
今井 孝之（長岡市）
中菊・肥後菊
田中 靖（新潟市北区）
小菊・懸崖
古寺 洋（新潟市西区）

- ▽新潟県教育長賞
大菊・三幹立管物
大竹 与市（新潟市南区）
中菊・江戸菊十一幹立
伊藤 昭（新潟市西蒲区）
小菊・三鉢一組
長谷川三作
（新潟市秋葉区）

この他に特別賞二十九賞、八十五点が授与された。

謹賀新年

新潟県少弥彦温泉
美味湯間

名代家

電話(94)201-3

弥彦の奥湯 観音寺
山里の花木に囲まれ香鼓



上州苑

電話0255(94)211-14

御菓子司



三笠屋

彌彦神社前通
電話0255-941215

神にちかう
心ではたせ
交通安全

彌彦神社交通安全講

國酒

鹽金
YAHIKO

彌彦酒造(株)

三嶋大社より神鹿来る



我が国最古の歌集『万葉集』巻十六には、当神社の有様を詠んだ二首がおさめられており、その内の一首には鹿が詠まれている。

伊夜彦 神の麓に 今日
 鹿もか 鹿の伏すらむ
 皮服(かわころも)着て
 角附(つ)きなながら

鹿は古くから全国的に見られ、かつて弥彦山には里に下りて田畑を荒らすほどに生息していたことが江戸時代の記録に見える。明治以降はその姿を目にするのは少なくなりましたが、この万葉の古歌にちなんで大正二年(一九一三)、奈良市の春日神社(当時)から雌鹿一番(ひとつがい)を譲り受けて神鹿として飼育したことが当神社鹿苑の始まりである。

神鹿は暫時繁殖して二十余頭にまで増えたものの終戦後減少し、昭和二十年代末には雄二頭を残すのみとなった。このため昭和三十年に東京都の神田神社(神田明神)より、改めて雌雄一番(ひとつがい)の神鹿を譲り受けた後は順調に繁殖を続け、最盛期には三十数頭に及び、子供たちをはじめ参拝の方々に親しまれた。



しかしながら神鹿は再び減少したため、平成二十八年十月に静岡県の三嶋大社のご厚意により十頭の神鹿を譲り受け、御遷座百年記念事業の一環として適切な飼育環境とするべく鹿苑も整備して飼育に努めていたものの、今年の春には四頭にまで減少するに至った。

これを受けて、再び三嶋大社のご厚意により、推定一歳から七歳の若い神鹿九頭(雄三頭・雌六頭)を譲り受けた。神鹿を載せた輸送車は十月十六日に三嶋大社を出発し、翌朝弥彦に到着した。清祓の後、環境の変化に慣れさせるために二時鹿苑内を区切って収容していたが、現在は従来から飼育している神鹿と一緒に暮らす。

来春には愛らしい小鹿たちの誕生が待ち望まれる。

新嘗祭併せ初穂講秋季大祭

十一月二十三日、新嘗祭に併せて初穂講秋季大祭が斎行された

当神社には、例年通り県下約一万余名の初穂講員から真心がこめられた初穂米が献納された。これらの献上米は、新潟県農産物検査協会の審査員十一名(審査長・同協会専務理事高山忠志氏)より厳正に審査され、特等以下各当賞が決定された。

入賞米は初穂講百年記念みずほ館にて一般の展観に供された。二十四日には初穂講秋季大祭第二日儀を斎行し、農業関係者はじめ多数の世話人参列のもと賑々しく執り行われた。

本年の特別表彰及び特等賞以上の受賞者は次の通り。(敬称略)

- ▽十年連続一等賞以上受賞
 - 正講員 長岡市長倉
 - 土田 市雄
 - ▽五年連続一等賞以上受賞
 - 本年度該当なし
 - ▽正講員特等賞
 - 新潟市西蒲区打越 (有)サンケイ新潟
 - 馬堀 伊藤 哲夫
- | | |
|----------|-------|
| 長岡市楡原 | 大崎 辰也 |
| 上岩井 | 小林 守 |
| 長倉 | 星野伊知郎 |
| 寺泊矢田 | 土田 市雄 |
| 近藤 | 川上 誠一 |
| 三上市榑山 | 安達 誠 |
| 柏崎市西山町別山 | 高橋 昭夫 |
| 十日町市倉俣甲 | 高橋 昭夫 |



元祖温泉饅頭

弥彦みやげに 祥立堂

電話 (〇五六) (94) 二〇五八

新潟県/弥彦温泉 政府登録国際観光旅館 (登録1984号)

四季の宿

みのや

〒959-0323 新潟県西蒲原郡弥彦村弥彦
 ☎0256-94-2010(代)
 FAX 0256-94-4463

新潟の冬に鍛えられた 除雪機

フジコーポレーション(株)

燕市小池285番地
 TEL 0256-64-5511

謹賀新年

御祈禱奉納者芳名

令和六年九月一日より令和六年十一月三十日まで 敬称略

特別大祈禱奉納

新潟市中央区 (株)キタック 敦井産業(株)

西区 ヤマト運輸(株)新潟主管支店

新潟市 山下慶

長岡市 石崎防災電設(株) 石崎ホールディングス(株)

特別祈禱奉納

新潟市東区 仁箇電建(株)

中央区 日本鏡餅組合 石坂若葉

西蒲区 越王柿振興協議会 (株)SUS

長岡市 (株)ヴィクトリー (株)新陽電機 (株)メジャーズ

小千谷市 関口翔暖 野沢章子

新潟市 北興化学工業(株)新潟工場

上越市 (株)エムアイ・ティージャパン

弥彦村 泉建築(株)

東京都 ENEOS(株)、石油資源開発(株)、(株)INPEX、(株)INPEX JAPAN 波動の会

別大祈禱奉納

新潟市東区 星野勝子

山本友紀 (株)インダストリアルミック

岡優利 三条市 真野幸一

真野結香子 長岡市 (株)美建工業

番場邦光 吉川弘子

新発田市 加藤奈保美

上越市 (株)エムアイ・ティージャパン

弥彦村 農事組合法人麓二区生産組合

阿賀町 麒麟山酒造(株)

東京都 アジア化工(株)安全衛生協議会 出光ペトナムガス開発(株) おやひこ様を技術革新の神と崇める会 大嶋貴弘

古川博之 宮城県 樋渡正博

山形県 (株)二代目高橋商店

栃木県 大田原市民生委員児童委員協議会連合会

埼玉県 (株)肉の二九八

千葉県 阿久津優子

野口雅毅 神奈川県 小林千絵

田中珠美 富山県 北越不動産

大祈禱奉納

新潟市東区 加藤彩絵

坪井遙香 中央区 大成建設(株)北信越支店 新潟総踊り祭実行委員会 農林水産部畜産課まきば会 上之山喜男 小野誠一

江南区 須ヶ牟田貴士

秋葉区 川瀬高志

笹川貴司 西蒲区 (株)末広製菓 柿振興協議会 五十嵐佑太郎

新潟市 フジイコーポレーション(株)

清水真理子 高橋洋雄

三条市 中越北地区郵便局長 会 佐藤恵子 廣川健一

藤田学 長岡市 新潟高周波工業(株)

大嶋堅吾 中川麻理子

見附市 細野隆善

小千谷市 足達政晴

加茂市 五十嵐隆夫

五泉市 長谷川舞樹

十日町市 飯塚信広

飯塚範子 庭野那由佳

弥彦村 大門建設(株) 弥彦観光索道(株) 弥彦村遺族会

刈羽村 (株)ビーエーブル

三宮美穂 東京都 北村敏一 村田晋一

村田美希 北海道 ひふみ会

栃木県 (有)彩電工業

埼玉県 (株)田宮建設

神奈川県 鈴木たつみ

田中成典 山梨県 エレクター(株) (株)レイズクリエイト

愛知県 水谷浩明

大阪府 阪口幸男

大々神楽講参拝

九月・十月・十一月

魚沼市 大白川講

大々神楽講中・世話人表彰

(令和六年中)

講表彰 一四〇年表彰

新潟市南区 新飯田講

世話人勲績表彰 十年表彰

新飯田講 本名 靖

新潟市南区 新飯田講

新飯田講 本名 靖

新飯田講 本名 靖

新飯田講 本名 靖

新飯田講 本名 靖

新飯田講 本名 靖

新飯田講 本名 靖

新飯田講 本名 靖

新飯田講 本名 靖

新飯田講 本名 靖

新飯田講 本名 靖

新飯田講 本名 靖

新飯田講 本名 靖

新飯田講 本名 靖

外祭

九月中 六日 ひらせいホームセンター

九月中 六日 燕店増築地鎮祭

九月中 六日 弥彦村伊彌彦米抜穂祭

十月 十一日 エネオス(株)・石油資源

十月 十一日 開発(株)INPEX 合同慰霊祭

十一月 十二日 弥彦観光索道(株)稲荷

十一月 十二日 社祭

十一月 十五日 事務員を命ずる (十一月十五日付)

十一月 十五日 事務員を命ずる (十一月十五日付)

十一月 十五日 事務員を命ずる (十一月十五日付)

十一月 二十一日 巫女を命ずる (十二月二十一日付)

十二月 二十一日 巫女を命ずる (十二月二十一日付)

十二月 二十一日 巫女を命ずる (十二月二十一日付)

十二月 二十一日 巫女を命ずる (十二月二十一日付)

十二月 二十一日 巫女を命ずる (十二月二十一日付)

十二月 二十一日 巫女を命ずる (十二月二十一日付)

辞令

事務員を命ずる (十一月十五日付)

事務員を命ずる (十一月十五日付)

事務員を命ずる (十一月十五日付)

事務員を命ずる (十一月十五日付)

事務員を命ずる (十一月十五日付)

事務員を命ずる (十一月十五日付)

事務員を命ずる (十一月十五日付)

事務員を命ずる (十一月十五日付)

彌彦神社社務所

令和七年一月一日 発行
〒九五九一〇三九三
新潟県西蒲原郡弥彦村弥彦
電話 〇二五五〇九四一〇〇〇一
FAX 〇二五五〇九四一四五五二
印刷所 株式会社タカカシ